



海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部

交通部

平成22年5月 No.10

緊急事態！！

昨年同期(1～3月)に発生した海難との比較では、今年は既に昨年の**1.7倍**と異常な海難の発生状況となっています。5月に入り北海道もようやく春らしい日が続くようになり、漁業活動やマリレジャー活動が本格化する時期です。この状況で進めば更なる海難の発生が懸念されますので安全対策は万全に行ないましょう。

平成22年1月から3月までの海難隻数の累計は24隻と昨年と比べ**10隻も増加**しています。

船種では貨物船、漁船、作業船など様々で、海難種類では死亡・行方不明にも繋がる重大な衝突海難が6隻(昨年同期3隻)と倍増している他、浸水、乗揚げなど多種にわたっています。

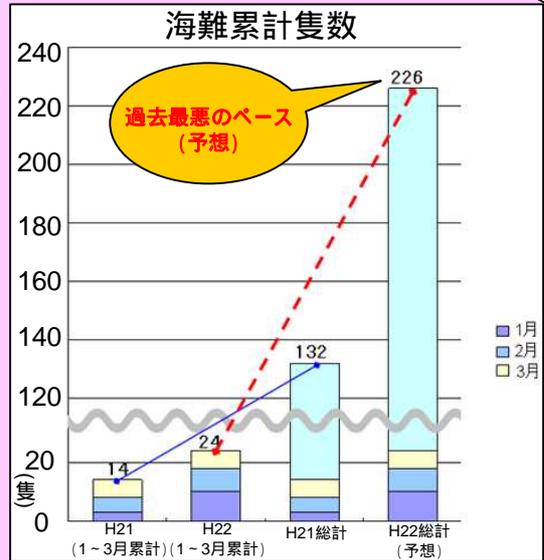
原因として見張り不十分や船位不確認などが挙げられてます。

残念なことに3月には3名の行方不明者(昨年同期2名)を伴う転覆海難も発生しています。

海難に遭わないためにも、船舶を運航する上での**基本に立ち返り**、日常の点検整備、早期の気象・海象状況の把握、常時適切な見張りの励行等に努めましょう。



平成21年11月 厚岸沖転覆海難



春期漁船海難防止強調運動が4月1日から6月30日の間で行われています。

【(社)北海道漁船海難防止・水難救済センター主催】
やっばみんなでライフジャケットだべさ〜(スローガン)

貨物船が石狩浜に座礁



荒天が予想される場合は、小まめに気象状況を確認するとともに、避難海域、避難方法を慎重に選定し早期避難を行うことが重要です。

また錨泊する場合は常に自船位置の確認と、周囲の状況に注意を払うとともに、AIS装置の電源をONのままにしてください。



貨物船D号(5,552t、空船)は、石狩湾港外に錨泊中でしたが、天候悪化に伴う転錨の時期を失ってしまい、西北西の強風により走錨し、3月21日午後、同港北東の浅瀬に座礁しました。

当時、石狩地方は前日から暴風波浪警報が発表され、小樽海上保安部からは走錨注意情報が発出されていました。

幸い人命に異常なく、29日から離礁作業が開始され、4月16日に離礁することができました。

AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報が正しく入力されているか定期的に確認しましょう。
- (3) 船舶データ、船舶の動静(航行中、錨泊中等)、目的地およびETA(到着予定時刻)の航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (4) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (5) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで

TEL 0134-27-0118

(内線: 2615、2623)

次号へ続く～